



社会課題の解決に貢献する
世界最高水準の
社会システムイノベーション研究

神戸大学 社会システムイノベーションセンター 2025



神戸大学

社会システムイノベーションを通じた政策提言と 社会実装のための異分野共創研究プラットフォーム

神戸大学社会システムイノベーションセンターは、法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、国際協力研究科、経済経営研究所の社会科学系5部局の有機的連携を図り、社会問題の解決を目指した社会システムのイノベーションと社会実装を推進する文理融合研究を行うことを目的として2016年4月に設置されました。

社会問題の解決のため先端的な実証研究によって問題を分析し、その一般化・理論化を図る手法を採用し、社会に貢献しつつ学問的にも世界最高水準の社会システムイノベーションの総合的研究拠点を形成し、社会システムイノベーションの専門家たる若手研究者を育成します。

研究体制

社会問題を効果的に解決し社会に受け入れられるためには、社会システムを全体としてイノベーション創出型へと革新する必要があります。社会システムイノベーションセンターでは、社会を「社会制度」、「科学技術」、「市場」の3層から構成されるシステムと捉え、その全体を研究対象としつつ、この3層を「ビジネスプラットフォーム」と「パブリックウェルフェア」の2本柱を架け橋として有機的に結びつけた研究結果を政策提言・社会実装することにより、社会問題を解決することを目指していきます。

当センターは、2024年度から、ビジネスプラットフォーム研究部門とパブリックウェルフェア研究部門の2部門体制で研究を進めます。各部門の概要は下記のとおりです。

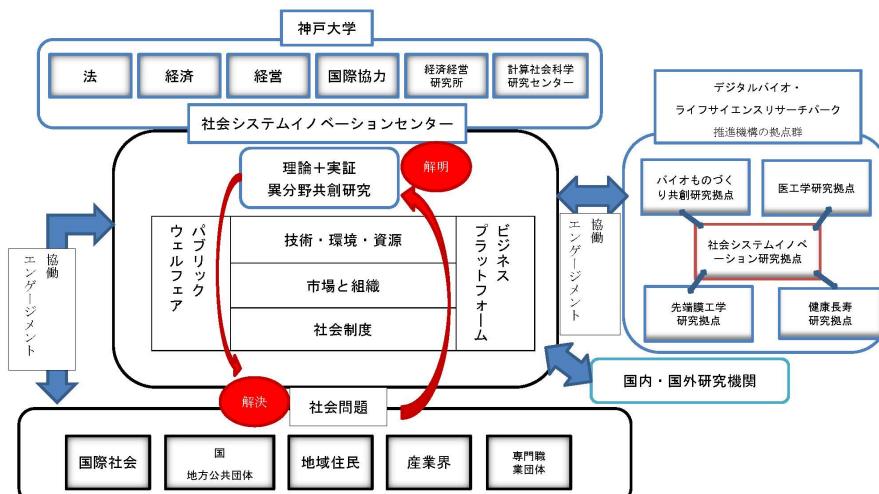
① ビジネスプラットフォーム研究部門

経済のデジタル化に伴って、市場、組織に次ぐ第3の資源配分メカニズムとして社会的重要性を増しているプラットフォームに関する価格設定、独占・寡占、個人情報保護、無形資産の認識・測定、マーケティング、社会政策への活用などの諸問題を、法学、経済学および経営学のみならずICTやウェルビーイングの観点からも研究するとともに、大学内シーズと社会ニーズとのマッチングという社会連携プラットフォームの構築にも貢献する。

② パブリックウェルフェア研究部門

技術・資源・環境、開発、金融・財政、貿易、医療・福祉、市場、組織、プラットフォームそして社会におけるSDGsなどの社会課題に対して、社会科学の枠を超えた異分野共創研究を実施し、その成果を政策提言・社会実装する。

さらに、2022年10月から本センターは、国立大学経営改革促進事業の一環である神戸大学デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパーク構想における神戸大学の4大フラッグシップ研究拠点を結びつける中核拠点として、社会科学のみならず文理融合・異分野競争研究の促進とその成果の社会実装を担う役割も負うこととなっています。





社会課題の解決に貢献する研究の 推進拠点としてされなる発展を

社会システムイノベーションセンター長

衣笠 智子



1902年にわが国で2番目の官立高等商業学校として設立された神戸高等商業学校は、1929年に神戸商業大学（1944年に神戸経済大学に改称）に昇格し、1949年に神戸大学となりました。この過程で社会科学系の部局は、当初の1学部から現在では4研究科1研究所の計5部局となり、260名以上の専任教員を抱える、わが国における社会科学的一大研究拠点となっています。もともと実学志向の強い学風でしたが、その一方で各研究分野は進歩とともに細分化される傾向にあり、社会の経済・社会問題が複雑化していく中で、今一度、種々の専門分野の研究者を結集し、高度な分野横断的研究を強く意識して発展させることが社会から要請されるようになりました。

このような社会的要請に応え実践する拠点として、2012年4月に神戸大学社会科学系教育研究府が設立され、そこでは、社会科学系5部局の連携によりさまざまな先端的・学際的プロジェクトが実施されました。2016年4月には、これらの研究を社会システムイノベーションの総合的研究と位置づけ、より強力に進める拠点として、社会科学系教育研究府を改組して社会システムイノベーションセンターが設置されました。

本センターは、社会科学系教育研究府で行われてきた分野横断研究を継承し、学内諸研究組織とも連携して、社会システムイノベーションの創出と社会実装を推進しています。2019年4月からは8部門体制となっています。

本センターでは、各部門の研究成果を学術誌だけでなくシンポジウム・講演会等を通じて広く情報発信し、さらに政策提言・社会実装を通じて社会に還元していきます。今後とも引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究部門紹介

本センターは、社会問題の解決を目指した社会システムのイノベーションと社会実装を推進する分離融合研究を行うことを目的として、2部門体制で研究を進めています。

2025年度には5プロジェクトに学内研究者44名、学外研究者5名が参加しています。

ビジネスプラットフォーム研究部門



部門長・副センター長
高田 知実

経済のデジタル化に伴い、市場、組織に次ぐ第3の資源配分メカニズムとして、プラットフォームが社会的重要性を増している。

ビジネスプラットフォーム研究部門では、地域、国内、および国際的な課題に関して、人材、金融、ICT、サステナビリティといったさまざまな観点から、プラットフォームの活用を軸とした研究を行う。これらの研究により、多様な社会的課題の解決につながる社会実装を目指す。また、大学内シーズと社会ニーズとのマッチングという社会連携プラットフォームの構築にも貢献する。

パブリックウェルフェア研究部門



部門長・副センター長
馬場 健一

本部門では、技術・資源・環境、開発、金融・財政、貿易、医療・福祉、市場、組織、プラットフォームさらに社会におけるSDGsなどの広範な社会課題を研究テーマとして取り上げる。

これらの諸課題に対して、社会科学の枠を超えた異分野共創研究を実施し、その成果を政策提言・社会実装することに取り組む。

研究プロジェクト一覧（2025年度）

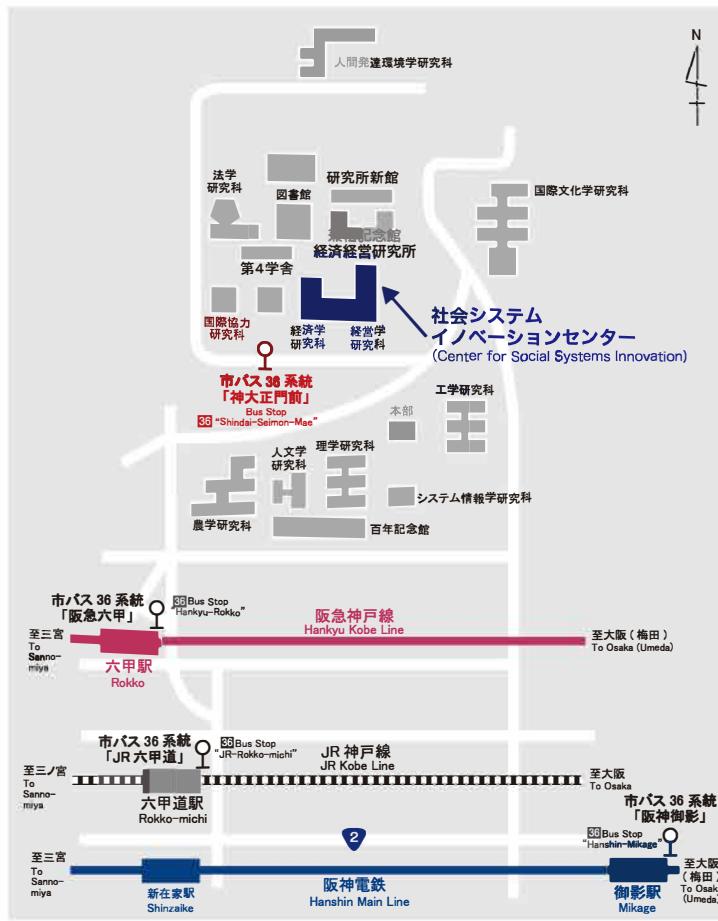
ビジネスプラットフォーム研究部門

- 「会計研究の多角的研究の推進」
- 「地域の持続可能な発展と地域金融の役割」

パブリックウェルフェア研究部門

- 「デジタル化社会の比較法制度研究プロジェクト」
- 「持続的開発と減災復興協力のモデル構築研究」
- 「少子高齢化時代の社会経済に関する学際的研究
—労働・健康・地域の問題に注目して—」

アクセス マップ



最寄り駅から社会システムイノベーションセンターまで

【徒歩】

阪急「六甲」駅から約 15 分

【バス】

神戸市バス 36 系統「鶴甲団地」行き、または「鶴甲 2 丁目止まり」行き乗車、阪神「御影」駅から約 25 分、JR「六甲道」駅から約 15 分、阪急「六甲」駅から約 10 分、「神大正門前」下車

【タクシー】

阪神「御影」駅から約 20 分 / JR「六甲道」駅から約 15 分
/ 阪急「六甲」駅から約 10 分



 **神戸大学**
社会システムイノベーションセンター

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

Tel : 078-881-1212 (大代表)

E-mail : cfssi-office@edu.kobe-u.ac.jp

ウェブサイト <http://www.cfssi.kobe-u.ac.jp>